

# 令和5年度「学校評価」まとめ

～生徒・保護者によるアンケートの集計結果より～

## ■基本情報

生徒からの回答数 132人(全体:157人)

保護者からの回答数 101人(全体:148人)

「肯定的」の基準は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が**70%以上**とする。

## 1 アンケート結果

### ■生徒によるアンケートから

全ての項目(全15項目)で「肯定的」な回答を得られた。その中でも、特に12項目が80%以上の「肯定的」な意見となった。

【80%未満の3項目 3・7・8】

3 あなたは、授業中、自分の考えを表現(書いたり発表したり)しようとしていますか。 **70%**

7 あなたは、家庭学習に取り組むように心がけていますか。 **77%**

8 あなたは、困ったときに相談できる先生がいますか。 **74%**

### ■保護者によるアンケートから

「肯定的」な回答が8項目(全10項目)となり、その8項目の全てが80%以上となった。

【70%未満の2項目 5・6】

5 お子さんの様子から、学校はわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。 **69%**

6 学校の進路に関する情報提供や相談は適切だと思いますか。 **68%**

## 2 考察

### ■生徒によるアンケートから

本校の教育活動が一定の評価を得られたと考えられる。「80%未満」となった上記3項目は、いずれも生徒自身が自分について評価した内容であり、自分を厳しく見つめたうえでの評価と考えることができる。今後は、より一層生徒に寄り添いながら指導したり、「振り返り」の活動を意図的に設定したりしていくことで改善が図られると考える。

アンケート項目2の「先生方は、分かりやすい授業をするために工夫していると思いますか」と「先生方は、授業に話し合いや発表などの学習活動を取り入れていると思いますか」では、ともに「そう思う・ややそう思う」が、92%の高評価を得られた。さらに「先生方は、授業の『めあて(目標)』をわかりやすく示していると思いますか」も、95%の高評価となっている。今後も生徒中心とした授業を確立していくために「やまなしスタンダード」を心がけ、「個別最適な学び」を行いながら、粘り強く生徒を指導していくことが大切だと考える。また「先生方はあなた『生徒』の話をしっかり聴いてくれていると思いますか」の質問に対しても、94%の生徒が「肯定的」な評価を行っている。今後も生徒一人一人の個性を理解し、「生徒に寄り添った指導」を心がけていく必要がある。

### ■保護者アンケートから

70%に達しなかった2項目(項目5・項目6)については、家庭としては判断が難しい内容だったと考える。2つの質問の回答ではいずれも「どちらともいえない」が約30%あり、自身の子どもから学校の様子が伝わらないことも、このような結果となった原因となっていると考えられる。授業参観の機会の確保と共に、学校からの発信力の強化に努めていく必要がある。